場所　愛媛県四国中央市

面積　0.95ha

活動目的　サイトが有する生物多様性の維持向上を図り、生態系サービスを充実化させていく。



サイト概要

1969年に購入した社有地で、ほとんどが多様な樹種の雑木林（アラカシ、コナラ、ヤブツバキ、サクラ、シュロ等が生育）で構成され、そこに多種の動物、昆虫類、爬虫類等が生息生育していることが確認されている。隣接地には戸川疎水記念公園があり、春には花見の名所として、その公園に沿うような形で第65番札所 由霊山 慈尊院 三角寺に向かう遍路道が通っている等、同地は昔から市民に親しまれ、且つ、多様な生態系サービスを提供しうる場所と思われる。

土地利用の変遷

サイトを購入した1969年当時から土地は利用しておらず、四国中央市の典型的な植生が残っている。
地域住民の墓地に隣接しており、墓地を利用するための小道が整備されている。

サイト周辺の環境

サイトは戸川疎水記念公園、墓地、赤之井川支流に囲まれた場所にあり、公園横の道は三角寺への遍路道となっている。

アピールポイント

サイトは周囲の墓地に接しており、墓地を訪れる人はサイトの樹木や昆虫などの自然に触れることができる。またサイトは、隣接する戸川疎水公園・疎水神社・赤之井川(疎水)・遍路道の背後地になっており、花見などで公園を訪れる人や、疎水感謝祭の参加者、植樹する小学生(公園が植樹場所になっている)、お遍路さんなどに豊かな自然の景観を与えている。年に1～2回、隣接する小道の樹木の剪定をしたり、倒木が道をふさぐことのないよう手入れをして、墓地を訪れる人や植樹する小学生などが歩きやすいように環境を整えている。

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

サイトは墓地に接しており、近隣住民の信仰の対象となっている。
隣接する戸川疎水公園・疎水神社・赤之井川(疎水)・遍路道の背後地になっており、訪れる人に豊かな自然の景観を与えている。
サイトの湧き水が隣接する墓地の水くみ場に供給されている。

【主な植生】

アラカシ、コナラ、ヤブツバキなど里山に見られる木々に加え、サクラなどの観賞用に植えられた木々が混生している。

【確認された主な動植物など】

【植物】
木本（高木～亜高木）33種　アラカシ、コナラ、ヤブツバキ、サクラ、シュロ 他
木本（低木，木本生つる植物）15種　イヌビワ、ナンテン、アオキ、ノイバラ、ヤブコウジ 他
草本（草本類，草本生つる植物，シダ植物）41種　フユイチゴ、ドクダミ、ミゾソバ、カラムシ 他
【鳥類】4種　ハシブトガラス、スズメ、キジ、キジバト
【哺乳類】1種　タヌキ
【爬虫類】2種　ニホントカゲ　他
【昆虫類】26種　モリチャバネゴキブリ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ、クマバチ ミヤマアカネ　他
【昆虫以外の節足動物】3種　オカダンゴムシ、オカトビムシの1種、トビズムカデ
【軟体動物】1種　セトウチマイマイ
【菌類】4種　コフキサルノコシカケ、カワラタケ、シロカイメンタケ、ヒイロタケ



写真の説明：基本的な植生（広葉樹の混合林）



写真の説明：ミヤマアカネ

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容

〈活動目的〉
サイトが隣接地や背後地となる墓地・戸川疎水公園・疎水神社・遍路道などを訪れる人が、豊かな自然や景観を感じられる環境を、維持し回復していくこと。
〈活動内容〉
①季節ごとに動植物のモニタリング活動を社員で実施。
②外来種のチェック
　外来種の繁殖により元々の植生が変わらないようﾁｪｯｸし対応する。
　(愛媛県総合科学博物館/専門学芸員の助言を受けﾁｪｯｸ・対応
　１回/年)
③竹林の拡大の抑制
　竹林が拡大し他の植生に影響を与えないよう伐採等を行う。
　(当社担当者･造園業者による確認･伐採等　1回/年)
④大木の伐採
　倒木の恐れのある大木の対処を行う。
　(当社担当者･造園業者による確認･対処　1回/年)
⑤墓地への小道の除草
　墓地参列者が通れるよう墓地への小道脇の除草･剪定を行う。
　(当社担当者･造園業者による確認･除草　2回/年)

モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】
サイト内に生息している植物、昆虫類を基本対象とし、鳥類、哺乳類、爬虫類、菌類等が確認されれば、それを記録する。

【モニタリング場所】
設定したルート沿いにモニタリングを実施することで、本サイト全域のモニタリング代表値とする。

【モニタリング手法】
指標種を中心に、対象が確認できる時期に調査を行う。ラインセンサスを活用したサイト内踏査による目視、目測を原則とする。

【モニタリングの実施時期及び頻度】
年２回（春・秋）の頻度で実施。

【モニタリング実施体制】
社員が中心となって実施。種同定及び分析・モニタリング計画見直し等については、愛媛県総合科学博物館の専門員に意見を仰ぎながら実施。